

経営比較分析表（平成28年度決算）

東京都 八丈町

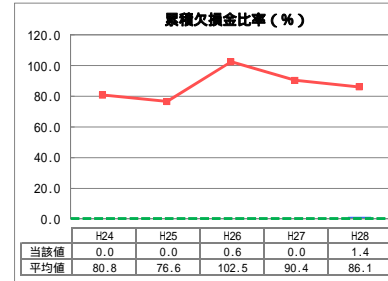
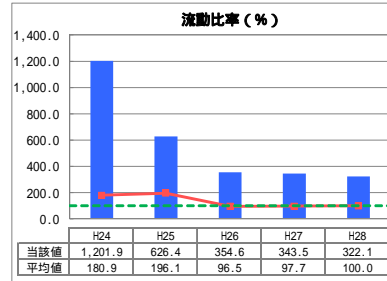
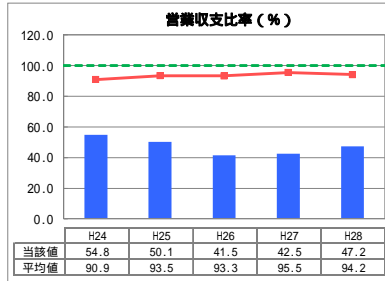
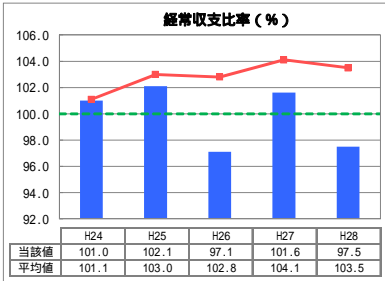
業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法適用	交通事業	自動車運送事業	自治体職員 民間企業出身
資金不足比率（％）	営業路線（km）	年間走行キロ（千km）	在籍車両数（両）
-	71.5	167	10
職員数（人）	管理の委託割合（％）	民間事業者の有無	地域公共交通網形成計画策定の有無
12	-	無	無

	H24	H25	H26	H27	H28
年間輸送人員（千人）	114	111	104	105	112
他会計負担額（千円）	50,000	57,000	63,000	62,000	61,000

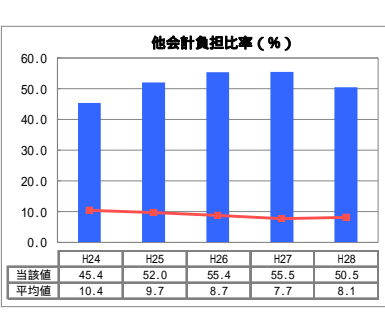
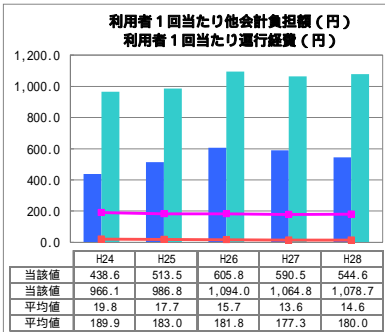
民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

1. 経営の健全性

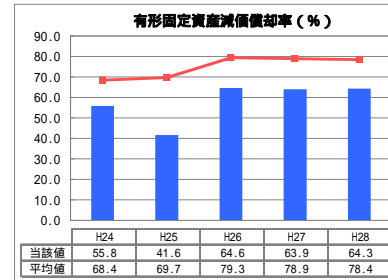
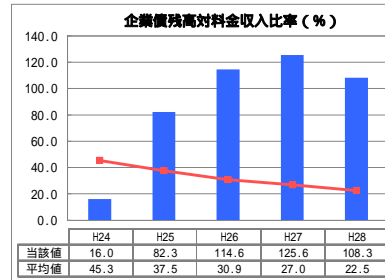
事業の状況



独立採算の状況

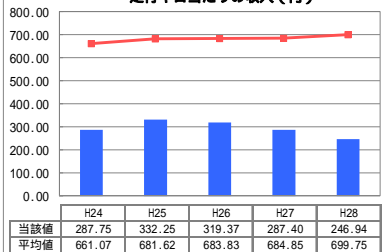


資産及び負債の状況

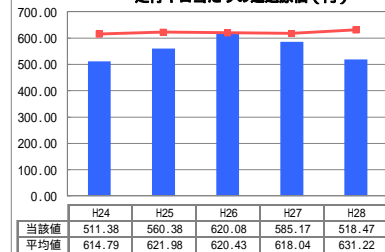


2. 経営の効率性

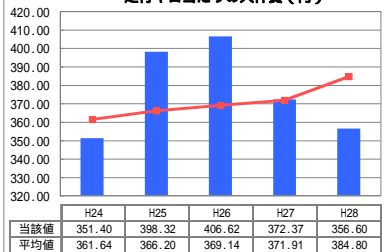
走行キロ当たりの収入（円）



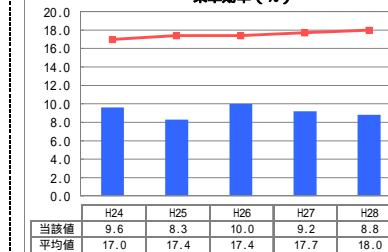
走行キロ当たりの運送原価（円）



走行キロ当たりの人件費（円）



乗車効率（％）



民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

分析欄

1. 経営の健全性について

八丈町一般旅客自動車運送事業は乗合事業と貸切事業を行っており、その両事業を合算した内容となっている。

事業の状況
営業収益では費用をまかないきれていないため、営業収支比率が目標値よりも低くなっている。費用を補てんするため、一般会計から補助を受けて、経常収支比率を目標値と近似値まで上昇させている。今後は、営業収支比率の改善に向けて、利用者及び営業収益の増加を図る必要がある。

独立採算の状況
利用者数が少ないため、利用者1回当たり運行経費が平均値より大きくなっている。また、一般会計からの補助金が収益の大きな割合を占めているため、利用者一回当たり他会計負担額、他会計負担比率は大きくなっている。他会計負担額を減少させるため、利用者を増加させる必要がある。具体的には、乗合事業については、便利で手ごろな移動手段として周知を図り、貸切事業については、積極的な観光誘致活動により利用者の増加を目指す。

資産及び負債の状況
車両更新を計画的に進めていることから、有形固定資産減価償却率は平均値より低い値となっている。また、車両更新の資金を企業債で調達しているため、企業債残高対料金収入比率は平均値より高い値となっている。利用者を増加させ、料金収入を増加させることで当該比率を減少させる必要がある。

2. 経営の効率性について

経営の効率性に関する表は乗合事業のみに関する内容となっている。

走行キロ当たりの運送原価、走行キロ当たりの人件費は平均より低い値となっていることから、費用については他の事業者以上に効率的な経営を行っていると考えられる。

収入については、乗車効率が低く、それに伴い、走行キロ当たりの収入が低くなっている。利用者の増加により、収入を増加させる必要がある。

全体総括

乗合事業については利用者数が少ない為、収入が低くなっており、費用は平均より低い値ではあるが、営業損失が大きくなっている。便利で手ごろな移動手段として周知、利用者の増加を目指す。

貸切事業については、団体での観光利用が主となっている。そのため、利用者が増加すれば、本事業の収益が増加するだけでなく、島内産業の活性化に寄与できる。積極的な観光誘致活動により、利用者増加を目指す。

上記により収益を増加させ、平成32年度を目途に策定を予定している経営戦略の中で、長期的な収益見込とそれに見合った投資計画に基づき、経営基盤強化を目指す。